

紹介受診重点医療機関検討票（基準○、意向○）

				作成日	令和6年2月9日	
(1)医療機関名	弘前大学医学部附属病院					
(2)担当者・連絡先						
(3)基準 <small>(初診40%以上、再診25%以上)</small>	初診基準	65.5%		再診基準	27.4%	
(4)重点外来ごとの割合 <small>※同一の診療日に重点外来が重複する場合があるため、基準と3つの合計は一致しません</small>	入院前後	高額等機器	特定領域	入院前後	高額等機器	特定領域
	10.4%	28.4%	52.3%	10.7%	16.6%	2.1%
(5)紹介率・逆紹介率 <small>(紹介50%以上、逆紹介40%以上)</small>	紹介率	95.3%		逆紹介率	82.8%	
(6)地域医療支援病院等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定機能病院 <input type="checkbox"/> 地域医療支援病院					
(7)病 床 数	一般病床	597床		療養病床	0床	
(8)「意向があり」 の理由 <small>※考え方を記入してください</small>	特定機能病院である本院は既に医療資源を重点的に活用する外来(重点外来)に該当しているため。					
(9)紹介受診重点 医療機関としての 今後の方針	外来機能の明確化を図り、他医療機関との連携を強化し、地域での役割を果たしていく。					
(10)協議の場における 協議内容及び結論						
(11)結果等						

紹介受診重点医療機関検討票（基準○、意向○）

				作成日	令和6年2月13日	
(1)医療機関名	独立行政法人国立病院機構弘前総合医療センター					
(2)担当者・連絡先						
(3)基準 (初診40%以上、再診25%以上)	初診基準	53.6%		再診基準	25.2%	
(4)重点外来ごとの割合 ※同一の診療日に重点外来が重複する場合があるため、基準と3つの合計は一致しません	入院前後	高額等機器	特定領域	入院前後	高額等機器	特定領域
	8.4%	34.0%	30.4%	12.3%	13.5%	2.4%
(5)紹介率・逆紹介率 (紹介50%以上、逆紹介40%以上)	紹介率	68.3%		逆紹介率	63.1%	
(6)地域医療支援病院等	<input type="checkbox"/> 特定機能病院 <input checked="" type="checkbox"/> 地域医療支援病院					
(7)病 床 数	一般病床	442床		療養病床	0床	
(8)「意向があり」 の理由 ※考え方を記入してください	当院の病院機能として、高度の医療を提供する立場から外来についても医療資源を重点的に投入する必要がある患者を診療することが役割だと考えている。 また、外来機能報告等に関するガイドラインにおいて、紹介受診重点外来に関する基準を満たす地域医療支援病院については、原則、紹介受診重点医療機関となることが望ましいとされている。					
(9)紹介受診重点 医療機関としての 今後の方針	引き続き高度医療を提供し、紹介患者に対する医療を地域の医療機関等との連携を密にし、地域医療の充実を図って行く。 また、症状が安定した患者に対しては、地域を支えてくださるかかりつけの先生方へ積極的に逆紹介を行う。					
(10)協議の場における 協議内容及び結論						
(11)結果等						

紹介受診重点医療機関検討票（基準○、意向○）

				作成日	令和	6年	2月	9日
(1)医療機関名	弘前中央病院							
(2)担当者・連絡先								
(3)基準 <small>(初診40%以上、再診25%以上)</small>	初診基準	73.0%			再診基準	49.1%		
(4)重点外来ごとの割合 <small>※同一の診療日に重点外来が重複する場合があるため、基準と3つの合計は一致しません</small>	入院前後	高額等機器	特定領域	入院前後	高額等機器	特定領域		
	8.4%	34.0%	30.4%	8.0%	43.8%	1.3%		
(5)紹介率・逆紹介率 <small>(紹介50%以上、逆紹介40%以上)</small>	紹介率	51.1%			逆紹介率	58.1%		
(6)地域医療支援病院等	<input type="checkbox"/> 特定機能病院 <input type="checkbox"/> 地域医療支援病院							
(7)病 床 数	一般病床	174床			療養病床	0床		
(8)「意向があり」 の理由 <small>※考え方を記入してください</small>	津軽医療圏域において医療資源を重点的に活用とする外来としての役割を担っていると判断したため							
(9)紹介受診重点 医療機関としての 今後の方針	紹介率・逆紹介率ともに5割以上であり、当院の主な機能である放射線治療、人工透析、血管外科・心臓血管外科手術、がん治療（消化器・呼吸器）、肺結核治療、ペースメーカー埋込術・電池交換等の診療の特色を活かし、地域の医療機関との連携を図っていきたいと考えております。							
(10)協議の場における 協議内容及び結論								
(11)結果等								

紹介受診重点医療機関検討票（基準×、意向○）

				作成日	令和 6年 2月 9日		
(1)医療機関名	鳴海病院						
(2)担当者・連絡先							
(3)基準 <small>(初診40%以上、再診25%以上)</small>	初診基準	67.4%			再診基準	24.7%	
(4)重点外来ごとの割合 <small>※同一の診療日に重点外来が重複する場合があるため、基準と3つの合計は一致しません</small>	入院前後	高額等機器	特定領域	入院前後	高額等機器	特定領域	
	0.9%	65.0%	28.2%	4.9%	20.2%	1.6%	
(5)紹介率・逆紹介率 <small>(紹介50%以上、逆紹介40%以上)</small>	紹介率	57.9%			逆紹介率	62.3%	
(6)地域医療支援病院等	<input type="checkbox"/> 特定機能病院 <input type="checkbox"/> 地域医療支援病院						
(7)病 床 数	一般病床	42床			療養病床	74床	
(8)「意向があり」の理由 <small>※考え方を記入してください</small>	引き続き紹介受診重点医療機関に指定されることにより、当院の役割を明確化し外来診療において患者の待ち時間の短縮、勤務医の負担軽減に繋がると考えているため。						
(9)今後、基準を満たす蓋然性 <small>※客観的な根拠を基に、説明してください</small>	令和3年度に比べ、令和4年度の急性期治療を必要とする入院患者数がコロナ感染症患者を受け入れたことにより減少している。そのため「医療資源を重点的に活用する入院」の前後30日間の外来受診が減少していると思われる。 今後、入院患者数の増加が見込まれ基準を達成できると考える。						
(10)基準の達成に向けたスケジュール <small>※欄に収まらない場合は、資料を添付してください</small>	年 月	具体的な取組				基準の状況	
	R6年3月	コロナ感染症患者の減少による入院前後の患者の割合の増加				初診：	再診：24.8%
	R6年5月	〃				初診：	再診：25.0%
		【参考資料】コロナ感染の入院患者が令和4年度で全体の30%、				初診：	再診：
		令和5年4月～12月までで全体の12%と減少している。					
		コロナ感染症患者は「医療資源を重点的に活用する入院」					
		に該当しない。今後「医療資源を重点的に活用する入院」					
		の患者数の増加が見込まれ、「医療資源を重点的に活用する入院前後の外来」患者数の増加も見込まれる。					
(11)協議の場における協議内容及び結論							
(12)結果等							

紹介受診重点医療機関検討票（基準○、意向×）

				作成日	令和 6年 1月 31日	
(1)医療機関名	公益財団法人鷹揚郷腎研究所弘前病院					
(2)担当者・連絡先						
(3)基準 <small>(初診40%以上、再診25%以上)</small>	初診基準	58.0%		再診基準	92.2%	
(4)重点外来ごとの割合 <small>※同一の診療日に重点外来が重複する場合があるため、基準と3つの合計は一致しません</small>	入院前後	高額等機器	特定領域	入院前後	高額等機器	特定領域
	13.3%	41.4%	42.1%	21.2%	90.9%	0.3%
(5)紹介率・逆紹介率 <small>(紹介50%以上、逆紹介40%以上)</small>	紹介率	60.7%		逆紹介率	3.4%	
(6)地域医療支援病院等	<input type="checkbox"/> 特定機能病院 <input type="checkbox"/> 地域医療支援病院					
(7)病 床 数	一般病床	109床		療養病床	0床	
(8)「意向がなし」の理由 <small>※考え方を記入してください</small>	当院は慢性腎不全における保存期治療、腎移植治療、腎・尿管結石破碎術、泌尿器科系治療を受けている患者様が多く、紹介される患者様のほとんどは、最終的な治療であるため、逆紹介になるのは、透析治療を自宅近隣の透析施設を希望する患者様、検査の結果により当院での治療が不要な患者様、腎移植後の加療・経過観察を弘前大学病院に依頼するごく少数の患者様です。以上の事が逆紹介率が低下の理由です。また、当院の病床数は200床未満である事が現在「紹介受診重点医療機関」への意向がない理由です。					
(9)協議の場における協議内容及び結論						
(10)結果等						